

内視鏡について

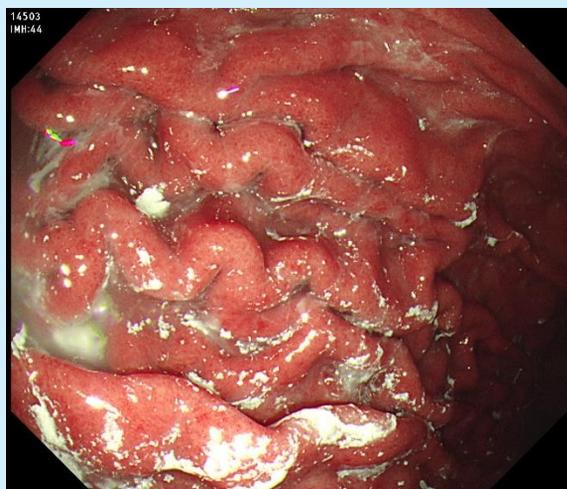
利尻島国保中央病院医師の中田健人と申します。今年も島で勤務させていただくこととなりました。また1年よろしく願いいたします。

さて、今回は当院で施行可能な内視鏡検査の胃カメラと大腸カメラについてご紹介させていただきます。

胃カメラは胃の調子が悪い方のみならず、検診やバリウムなどで異常を指摘された方や病変の経過観察など、幅広い方々に対応させて頂いております。胃カメラを受けることによって、今現在胃癌を発症しているかを確認できるだけでなく、胃粘膜の性状を観察し組織を採取することによって、ピロリ菌に感染しているかどうかを判別することが可能であり、将来の胃癌発症リスクを見極め、適切なフォロー間隔を提示することができます。複数の研究機関やガイドラインでも「発見される胃癌のほとんどがピロリ菌感染関連であること、また除菌治療により胃癌予防効果が明らかになっていること」「胃粘膜所見により胃癌リスク層別化を行うこと」が提唱されています。特に今まで胃カメラを受けたことがない方は、是非お気軽にご相談いただければと思います。

大腸カメラに関しては、基本的には検査のみの対応とさせて頂いております。ポリープを認めた場合は微小なものを除き、リスクを考慮して島外へご紹介し切除して頂いておりますのでご了承ください。例えば、「忙しくてなかなか島外に出ることができず、ただ心配なのでまずは検査だけでもしてほしい」という方がいらっしゃればお気軽にご相談ください。

【ピロリ菌に感染した胃】



【正常な胃】

